

# 特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

平成 25 年度事業報告書



平成 26 年 5 月

## はじめに

東日本大震災から3年目を迎えた平成25年度を振り返りますと、被災地では目に見える形での復興は捗らず、被災者の生活再建は立ち往生していて、また、被災者支援のニーズは多様化している一方で、被災地外での関心が薄れつつある、という状況がつつきました。

しみん基金・こうべでは、この状況に対して長期的な視野に立った支援のしくみとして平成24年度より「東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金（愛称：ずっと・こころ・つなぐ基金）」を設置し、募金への呼びかけを始めました。この基金では、震災関連のドキュメンタリー映画の上映会を通じて、「被災地のことをいつまでも忘れない」、というメッセージを発信しながら、基金への募金を呼びかけてきました。

合わせて、平成24年度と同様に、被災者を支援するボランティア活動へ助成する特定枠を設置し、従来からの一般枠と合わせて、また引き続き「次代の市民活動の担い手育成を重視する」というテーマを掲げながら、助成事業を実施しました。そして、平成25年10月に開催した公開審査会の結果、8団体（一般枠；5団体、特定枠；3団体）の各事業に合計299万円（一般枠；150万円、特定枠；149万円）の助成金を交付し、助成を受けられた団体の活動を通じて、19年前のKOBEでの経験が、このたびの震災被災者支援に活かされるようにしてきました。

また、ひょうごボランティア基金の助成を受けて、これまでの蓄積を生かして「ひょうご地域NPOマネジメント講座」を開催し、これまで助成金を通じて支援してきた団体に対して、それを生かして団体を運営していくためのノウハウを座学で提供し、個別訪問によるハンズオン型でそのノウハウを団体で展開する支援を行いました。

さらに、13年目となる委託事業「はぁ〜とふるファンド」支援事業や、他団体との協働ファンドレイジング事業「こうべi - ウォーク2014」などを引き続き実施しました。

阪神淡路大震災から2015年1月で節目の20年目を迎えることとなります。当基金もこの間、助成先団体の活動を通じて、「絆」をつくり繋いでいく役割を担ってきました。そして3.11以降の時代は、より一層の「絆」の再生と創造が求められています。今後も、これまでの経験に基づきながら、社会的な課題解決に大きな役割を果たしている市民活動を地域の中で育てていくために、当基金自身のファンドレイジング力も高めつつ、その社会的価値を高めてまいり所存でございます。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ  
理事長 黒田 裕子

# 目次

はじめに	2
目次	3
1 助成事業	
ア) 平成 25 年度しみん基金・KOBЕ 助成事業	4
イ) 平成 25 年度しみん基金・KOBЕ 特別賞	6
ウ) 平成 24 年度助成事業成果報告会	6
2 寄附・募金活動	
ア) 寄附金・募金受入	7
イ) イベント募金	8
①ずっと・こころ・つなぐ基金（(東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金)	
②こうべ・あいウォーク 2014 <協働>	
ウ) 協働企画型寄付システム	9
①古着チャリティ事業 <協働>	
②その他	
エ) 広報・情報発信	9
3 中間支援事業	
ア) ひょうご地域 NPO マネジメント講座<助成>	10
イ) NPO 支援活動	11
ウ) はあ〜とふるふあんど支援事業<受託>	12
4 運営管理	
ア) 会議	13
イ) スタッフ採用	13

# 1 助成事業

## ア) 平成 25 年度しみん基金・KOBЕ 助成事業

### ①助成の趣旨

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の市民団体等による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

### ②応募対象者

1. 神戸市及び周辺の地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

### ③助成金額

平成 25 年度助成事業は、助成総額 300 万円を予定しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、金 50 万円を上限。	
	助成総額は 150 万円までを予定。	助成総額は 150 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

### ④助成事業の内容

1. 平成 25 年度基本方針：次代の市民活動の担い手育成を重視する。
2. 助成対象期間：平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性、地域との連携・協働を図るものを、優先しました。  
なお、特定枠の審査・選考するにあたっては、組織の「継続性」や「運営能力」よりも、事業内容の「社会的必要性」や「成果波及性」、その理念の「先駆性」をより重視することとしました。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）、負担金（諸会費）※交際費は対象外。

⑤申請受付期間 平成 25 年 7 月 22 日（月）～平成 25 年 8 月 30 日（金）

⑥申請受付団体数 申請件数 58 団体（一般枠；47 団体、特定枠；11 団体）

⑦書類選考 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施しました。

開催日時：平成25年9月18日(水) 18:00~20:00

場 所：しみん基金・KOBÉ 事務所

形 式：理事会にて審議

選考結果：19 団体（一般枠；12 団体、特定枠；7 団体）

⑧ヒアリング調査 以下の通り、書類選考された19 団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、ヒアリング調査を実施しました。

期 間：平成25年10月1日（火）～平成25年10月10日（木）

形 式：当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

⑨公開審査会 以下の通り、書類選考された19 団体のプレゼンテーションによる公開審査会を開催しました。

開催日時：平成25年10月28日（月）13:00~17:00

会 場：神戸市生涯学習センター（コムスタ神戸）・セミナー室

出席審査員（順不同・敬称略）：

中島 淳（審査員長代行）、森崎 清登、中瀬 勲、相川 康子

河口 紅、齋本 郁、津久井 進、山田 剛司

⑩助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の8 団体（一般枠；5 団体、特定枠；3 団体）の各事業に合計2,990,000 円（一般枠；1,500,000 円、特定枠；1,490,000 円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会の審議により決定しました。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	(特活)あっとオーティズム	自閉症を含む発達障がいの社会理解促進のための啓発事業
	2	(特活)Future Code	バングラディッシュにおける看護師育成プロジェクト
	3	(特活)ウエルネスハート	中途視覚障がい者の自信と笑顔を取り戻す応援事業
	4	みんなの家	おにぎり会を中心とした地域子育て支援事業
	5	日韓学生会議	第52 回日韓学生会議
特定枠	6	私の好きなこの街復興支援プロジェクト	東北震災遺児の心のケアを目的とする関西招待公演実施と支援交流
	7	公益財団法人神戸YWCA	神戸保養プログラム～放射能被災下の家族を対象に
	8	バレンタインチーム	神戸と東北をつなぎあらゆる角度から復興を目指す活動

## ⑪助成先団体活動レポート

今年度から、助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄附者や市民に知ってもらうために、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金事務局ブログで発信しています。合わせて、団体訪問時に合わせて、助成金交付後に事業内容等の変更の有無の確認を行っています。

- ・ 11/16：ノーマライゼーション陸上スポーツ大会実行委員会
- ・ 2/27：ウエルネスハート、
- ・ 3/26：神戸YWCA

(他団体についても、助成対象期間終了の平成26年9月末までに、随時訪問する予定です。)

## イ) 平成25年度しみん基金・KOBÉ特別賞(旧草地奨励賞)

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。

公開審査会同日に開催された当基金理事会の審議により、今年度は「アジア女性自立プロジェクト」に決定し、平成25年12月6日(金)の平成24年度助成事業成果報告会にて贈呈致しました。

## ウ) 平成24年度助成先事業成果報告会

平成24年度助成事業(助成対象期間：平成24年10月1日～平成25年9月30日)について、平成25年10月末日までに事業成果報告書を提出頂きました。

また、最後の締めくくりとして、助成先団体による事業成果報告会を下記の通り実施しました。

- ・ 開催日時：平成25年12月6日(金) 14:00～16:30
- ・ 開催場所：神戸市生涯学習センター(コミスタ神戸)・セミナー室
- ・ 発表団体：1. 日本国際学生協会  
2. ノーマライゼーション陸上スポーツ大会実行委員会  
3. 性暴力被害者支援センター・神戸  
4. 神戸国際支縁機構  
5. 「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会  
6. 一般社団法人 日本カーシェアリング協会

・ 開催のねらい：

- ①各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄付提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する。
- ②市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合う。
- ③各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いやネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。

## 2 寄附・募金活動

### ア) 寄附金・募金受入

以下のみなさんより寄付金を頂きました。(敬称略・順不同)

中島 秀男	飛田 雄一
黒田 裕子	中谷 豊
溝口 幸子	井上 由紀子
宇都 幸子	瀬戸口 延恵
山口 一史	島田 誠
(一財) 敬愛まちづくり財団	山田 剛司
赤松 竜	畑 文隆
障害者自立センター	こうべ・i-ウォーク 2014 実行委員会
兵庫県遊技業協同組合	朴木 佳緒留
シスメックス (株)	愛蓮塚口店
「禁じられた大地・フクシマ」上映会参加者の皆様	
「うたごころ」 & 「WITH」上映会参加者の皆様	
オレンジスリフティ へ古着を提供して頂いた皆様	

総額 ￥ 1,862,562

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

## イ) イベント募金

### ①ずっと・こころ・つなぐ基金（東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金）

「ずっと・こころ・つなぐ基金」は、東日本大震災の被災者支援のためのボランティア活動を長期的支えるしくみとして、平成24年度に創設しました。

今年度は、平成25年4～6月にかけて、ドキュメンタリー映画「禁じられた大地・フクシマ」の上映会を4回、平成26年1月18日にドキュメンタリー映画「WITH」&「うたごころ」の上映会で、この基金への募金を呼びかけるとともに、被災地から遠く離れていて風化しがちな意識を、映像を通じて振り返り、今感じている想いを共有し、それをKOBE発の災害支援ボランティア活動団体に託すことで、被災者支援につなげていくことを目指して、下記のとおり実施してきました。

各会場での募金は、当基金助成事業の中で、東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動を行うNPO・NGO／ボランティア団体への助成金として活用させて頂きました。

協力：Association GANBALO：「禁じられた大地・フクシマ」

榛葉健氏&「神戸と三陸を結ぶ映画会」実行委員会：「WITH」&「うたごころ」

実施概要：

	日付	場所	上映作品	共催者
1	4月27日	神戸市中央区	「禁じられた大地・フクシマ」	神戸国際支縁機構
2	4月29日	神戸市中央区	「禁じられた大地・フクシマ」	市民社会フォーラム
3	5月19日	大阪府吹田市	「禁じられた大地・フクシマ」	(特活)市民ネット吹田
4	6月28日	尼崎市	「禁じられた大地・フクシマ」	Café Haretoke
5	1月18日	神戸長田区	「WITH」&「うたごころ」	神戸と三陸を結ぶ映画会実行委員会

寄附金&募金実績： ¥76,078

### ②こうべ・あいウォーク2014（協働事業）

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金（一口千円）は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

主催：こうべ・あいウォーク実行委員会（神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まちコミュニケーション、(特活)しみん基金KOBE)、

協力：近畿労働金庫

日時：平成26年1月12日（日）9:30～13:30

場所：長田区（大国公園～鉄人28号モニュメント前、大正筋商店街、丸五市場・・・～みくら5）

実績：参加者 約150人、寄附金額：¥1116,148



## ウ) 協働企画寄付システム

### ①古着チャリティ事業 (協働事業)

この事業では、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としています。

今年度よりこの事業を拡大するために、提携先との定期的な協議の場を通じて、オレンジスリフティ店舗内に当基金の助成事業実績を大きく示すポスターを掲示し、古着提供者には Thanks card の配布・お礼状の送付など、寄付受入れの増強に努めました。

提携先：オレンジスリフティ 寄附金額：¥377,070

### ②その他

- 1) ろうきん NPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄附金額：¥12,000
- 2) 募金箱 協力設置場所：14ヶ所 募金金額：¥43,266

## エ) 広報・情報発信

### ① ニュースレター発行

第30号：平成25年8月、第31号：平成25年12月、第32号：平成26年3月

\*第32号より、カラー化しました。

- ② ホームページ；寄付ページ等の改訂・クレジット決済機能追加等、
- ③ 事務局ブログ・FB；随時更新
- ④ メルマガ発行：平成25年12月3日創刊号発信
- ⑤ しみん基金 KOBE 紹介パネル（展示用）の改訂
- ⑥ 内閣府 NPO ページ・市民ファンド活動事例集に掲載

[https://www.npo-homepage.go.jp/jirei/index\\_fund.html](https://www.npo-homepage.go.jp/jirei/index_fund.html)

### 3 中間支援事業

#### ア) ひょうご地域 NPO マネジメント講座 (助成事業)

この講座は、神戸・兵庫地域の NPO 法人等を対象として、現状の経営分析を行い、課題を抽出して、中期計画づくりを行うことを通じて、NPO 法人等の経営層のマネジメント能力の向上を図ることを目的として、中期計画づくりの座学講座を 5 回、その合間に受講団体を個別指導訪問を 3 回という構成で、下記の通り実施いたしました。

なお、この事業はひょうごボランティア基金・中間支援助成の受託事業として実施しました。

#### [実施概要]

- (1) 座学講座 : 5 回開催 (3 時間/回) : プレゼン+レクチャー+ワーク
  - ① 平成26年 1月14日 (火) NPOマネジメント論~ミッション・ビジョンの重要性  
担当講師: 當間克雄氏、ファシリテーター: 江口
  - ② 平成26年 1月21日 (火) 現状分析 (SWOT分析) 手法を学ぶ  
担当講師: 河合将生氏、ファシリテーター: 江口
  - ③ 平成26年2月11日 (火) 課題抽出とその解決策検討の手法を学ぶ  
担当講師: 河合将生氏、ファシリテーター: 江口
  - ④ 平成 26 年 3 月 4 日 (火) BSC による年度事業計画づくりを学ぶ  
担当講師: 當間克雄氏、ファシリテーター: 江口
  - ⑤ 平成 26 年 3 月 25 日 (火) 年度事業計画案発表会&企業からみた NPO の課題  
担当講師: 當間克雄氏・河合将生氏、瀬戸口、  
ファシリテーター: 江口
- (2) 個別訪問指導 3回 (2~3時間程度/回) × 3団体へ訪問、個別に課題作成を支援する
  - ① 座学②-③間で訪問し、「SWOT分析シート」作成を個別指導
  - ② 座学③-④間で訪問し、「課題抽出シート」作成を個別指導
  - ③ 座学④-⑤間で訪問し、「年度事業計画案シート」作成を個別指導
- (3) 受講団体 3団体 (受講者: 6名)
  - ① みんなの家 (神戸市東灘区: 平成25年度当基金助成先団体)  
主担当: 江口、サブ: 河合将生氏
  - ② (特活) インターナショナル (神戸市中央区: 当基金賛助会員)  
主担当: 河合将生氏 (當間克雄氏: 3 回目のみ)、サブ: 江口
  - ③ (特活) あっとオーティズム (芦屋市: 平成25年度当基金助成先団体)  
主担当: 河合将生氏、サブ: 當間克雄氏 (江口: 3 回目のみ)
- (4) 実施体制
  - ・スーパーバイザー: 今田忠氏 (市民社会研究所・所長)
  - ・スーパーバイザー兼講師: 當間克雄氏 (兵庫県立大学経営学部・教授)
  - ・講師兼アドバイザー: 河合将生氏 (Office Musubime・代表)
  - ・ゲスト講師: 瀬戸口仁三郎 (当基金専務理事)
  - ・アドバイザー兼事務局: 江口聰 (当基金事務局長、認定ファンドレイザー)
  - ・事務局: 戸田香苗 (当基金スタッフ)

## イ) NPO 支援活動

- ① 神戸市アドバイザー派遣事業 主催：(特活) 神戸まちづくり研究所 (神戸市からの委託事業)
  - ・ NPO 運営ステップアップ講座：3 回 (平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月、うち 1 回講座担当)
  - ・ MTG・ケース検討：5 回 (平成 25 年 7 月～平成 26 年 3 月)
- ② ひょうご中間支援 NPO ネットワーク 事務局：(特活) シミンズ・シーズ
  - ・ MTG：3 回 (10/25、12/19、3/20)
- ③ 中間支援 NPO と行政の意見交換会 主催：神戸市プラットフォーム
  - ・ MTG：5 回 (5/31、6/21、7/9、7/30、8/20)
- ④ 企業と NPO のマッチング事業 主催：(特活) コミュニティサポートセンター神戸
  - ・ 住友ゴム(株) CSR 推進室との MTG：4 回 (10/4、11/5、11/13、11/21)
- ⑤ 市民活動促進のための運営力強化ノウハウ移転事業
  - 委託元：内閣府 受託先：公益財団法人パブリック・リソース財団
  - ・ MTG：4 回 (10/11、10/30、11/15、1/29、2/17)
  - ・ 移転先 ((特活) 東海道・吉原宿) 支援：3 回 (12/14、12/17、1/9)
- ⑥ 市民ファンド推進連絡会 事務局：(特活) 市民社会創造ファンド
  - ・ MTG：1 回 (7/25) 研究会：1 回 (3/8)
- ⑦ (特活) 環境市民・組織基盤強化支援 助成元：パナソニック NPO サポートファンド
  - ・ MTG：2 回 (1/20、2/26)
- ⑧ 講演依頼等
  - (ア) 平成 25 年 7 月 18 日 NPO 法人設立・就業サポートコース/講座「ファンドレイジング」  
講師：江口事務局長 主催：(特活) シンフォニー @尼崎
  - (イ) 平成 25 年 10 月 8 日 コミュニティビジネス応援セミナー/「資金調達に関すること」  
講師：江口事務局長 主催：(特活) シンフォニー @篠山
  - (ウ) 平成 25 年 10 月 9 日 大阪市 NPO 公募提案型事業/NPO・ボランティアグループのためのレベルアップ講座「選ばれる事業プランを提案できるようになろう！～助成金申請書の実践から力を身につける」  
コーディネーター&講師：江口事務局長、主催：(社福) 大阪ボランティア協会 @大阪
  - (エ) 平成 25 年 11 月 7 日 大阪市 NPO 公募提案型事業/NPO・ボランティアグループのためのレベルアップ講座「30 万円の寄付を知恵と工夫で集めてみよう！～ファンドレイジングの実践から力を身につける」  
コーディネーター&講師：江口事務局長、主催：(社福) 大阪ボランティア協会 @大阪

- (オ) 平成 25 年 11 月 9 日 摂津青年会議所・11 月度例会 @大阪府摂津市  
「震災寄付のゆくえ～被災者支援のための資金仲介の現況」講師：江口事務局長  
「これから JC としてこの震災とどのように向かい合うのが良いのか」講師：瀬戸口専務理事
- (カ) 平成 26 年 2 月 28 日～3 月 1 日 JICA 地球ひろば「『応援したくなる NGO』になるためのステップアップ研修」～「NGO と他セクターとの協働のありかたについて、連携事例を通じて考える」・「他セクターが連携相手の決定や助成先選定にあたって重視していること」コーディネーター&講師：江口事務局長、主催：(特活) 関西 NGO 協議会 @大阪
- (キ) 平成 26 年 3 月 4 日 講演「心のケアについて。なぜ傾聴が必要なのか」  
講師：黒田理事長、主催：生活協同組合コープこうべ @神戸

#### ウ) はあ～とふるふぁんど支援（ボランティアあしすと部門）事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ～とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はあ～とふるふぁんど申請書より抜粋）

**[支援対象]** 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。

**[支援金額]** 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

**[受付期間]** 平成 26 年 1 月 6 日（月）～平成 26 年 3 月 7 日（金）

**[申請団体数]** 申請団体数 73 団体（うち、19 団体に支援金交付予定）

## 4 運営管理

### ア) 会議

#### ① 定時総会

開催日：平成 25 年 5 月 30 日（木）18:30～19:30

開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

出席会員数：25 名（うち委任状提出 15 名）、正会員数：41 名

審議事項：（1）平成 24 年度事業報告並びに決算報告

（2）平成 25 年度事業計画案並びに予算計画案

（3）基本財産の取り崩しについて

#### ② 理事会

1) 平成 25 年 5 月 15 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：①平成 25 年度定時総会付議事項、②審査員選任

2) 平成 25 年 9 月 18 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：①助成事業／一般枠・特定枠の書類選考

3) 平成 25 年 10 月 28 日 開催場所：コムスタ神戸

審議事項：①公開審査会選考結果承認・助成先決定、②しみん基金 KOBE 特別賞選考

4) 平成 25 年 12 月 6 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項なし

5) 平成 26 年 2 月 21 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：平成 26 年度定時総会までの日程、

#### ③ 四役運営会議

1) 平成 25 年 4 月 8 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：中期計画素案、事務局スタッフ採用、定時総会までの日程

2) 平成 25 年 4 月 26 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：平成 24 年度事業報告・決算報告、平成 25 年度事業計画・予算計画  
役員別役割分担について

### イ) スタッフ採用

①スタッフ公募 平成 25 年 4 月 19 日～5 月 10 日

方法：HP 掲載、ハローワーク登録、生きがいサポートセンター登録

②採用プロセス 応募人数：9 名、5 月 15 日：書類選考、5 月 27 日：役員面接 4 名

③採用 戸田香苗さん（6 月 17 日から勤務開始）